



Home (ホーム)

稲田学園だより NO. 30
令和2年 2月27日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっ子”

今年度最後の授業参観 ありがとうございました

2月21日(金)午後、授業参観が行われました。のべ249名(88.9%)の児童生徒の保護者の方々に参観いただき、ありがとうございました。今年度最後の授業参観でしたが、どの学年もお子さんの成長した姿をご覧いただけたのではないかと思います。

今回の授業参観では、4年生が2分の1成人式を行い、前期ブロック修了に際しての節目の儀式となりました。劇やクイズ、合奏、呼びかけ、合唱などで10年間を振り返りながら、保護者の皆様への感謝の気持ちや、目標や夢に向かってがんばりたいことなどを堂々と発表してくれました。先日行われた立志式を含めたこれらの行事は、今後稲田学園の伝統行事にしていきたいと思ひます。

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中参観していただきありがとうございました。



成長した1年生



2分の1の成人式の4年生



親子で一緒に活動する6年生



1年間を振り返ったなかよし学級



すっかり中学生になった7年生



最後の授業参観はバレーボールの9年生

校長先生と会食

2月17日(月)から、間もなく小学校卒業を迎える6年生が、給食の時間に校長先生と会食をしています。毎日4人ずつ校長室を訪れて、緊張しながらも楽しく校長先生と会食しています。

給食で好きな献立や小学校での一番の思い出、中学校生活への不安や部活動のことなどを話題にしながら会食し、毎回あっという間に終わってしまいます。一緒に会食して、一人一人の個性を実感するとともに、4月から中学生になってがんばっている姿を見ることが出来る施設一体型の小中一貫教育校の良さも実感しています。

いつもはさびしく給食を検食している校長先生ですが、美味しい給食を6年生と一緒に食べられることができ感謝しています。

ありがとう6年生!



緊張(?)しながら校長と会食



なわとび記録会

2月19日（水）に小学生の児童の皆さんが、体育の授業でなわとびの記録に挑戦しました。

これまでの体育の授業や業間や昼休みの時間を使って練習してきましたが、その練習の成果を発揮しようと頑張っていました。真剣に記録に挑戦する児童と、それを一生懸命応援している児童の姿が見られました。これからはいろいろなことにチャレンジしてがんばることができる“いなだっ子”でいてほしいと思います。

なお、今年から「教職員の働き方改革」に伴う行事削減で、「なわとび記録会」は体育の授業の一部として開催させていただきました。



昨年よりも跳べた2年生



あや跳びに挑戦する3年生



さすが二重跳びの5年生

後期児童生徒会総会

2月25日（火）に5～9年生が一堂に会して、後期児童生徒会総会が行われました。本校では、小学校5年生から児童生徒会に所属して、小中学生が一緒になって活動しています。小中学生が一緒に活動することになって、小・中学校の垣根をなくし、中学生は小学生の手本となり、小学生は中学生に対して憧れを持って活動できるようになってきました。

昨日の総会では、1年間の活動計画や方針を振り返りながら。反省及び改善点などを話し合われました。また各クラスの代表生徒からは建設的な意見がたくさん出されて、活発な総会になりました。

また、今回の総会は新しい児童生徒会本部役員と8年生の各専門委員長、部活動の部長及び8年生の議長で運営されていましたが、これまで先輩方が受け継いできた伝統を、8年生もしっかりと受け継いでくれたのではないかと思います。



8年生新専門委員長の発表

鼓笛隊・登校班・清掃班・特設陸上クラブの引継ぎ式

2月27日（水）昼休み、6年生から、5年生を中心とした在校生に鼓笛隊・登校班・清掃班・特設陸上クラブの引継ぎ式が行われました。鼓笛隊では、6年生の主指揮者から校長へ指揮杖が返還され、5年生の新主指揮者へと新たに移杖されました。その後、6年生を前に、新鼓笛隊による演奏が披露されました。



6年生に披露された鼓笛隊の演奏



様々な活動も5年生に引継ぎ

また、6年生を中心に活動してきた登校班や縦割りでの清掃班、陸上クラブの活動も5年生に引き継ぎました。6年生から引き継いだ様々な活動に対して、今年以上の活躍を誓った5・4年生でした。

来週から3月になり、校内では一気に卒業に向けた取組が始まりました。小・中学校ともに卒業式練習が行われたり、卒業生に感謝する催しが行われたり、様々な場面で引継ぎが行われていたりしています。このような節目の行事を通じて、子ども達は成長していくことを、開校2年目の今年は余裕を持って取り組むことができます。これまでの小・中学校でそれぞれに受け継がれてきた行事等を上手に融合させることによって、小中一貫教育ならではの取組ができつつあるのではないかと自負しています。令和3年度から「義務教育学校」へ移行することが先日の須賀川市長の記者会見で発表されました。これまでの小中一貫教育での成果を踏まえながら、9年間を通じた、より充実した教育活動を展開していきたいと思っておりますので、保護者や地域の方々のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。これからの稲田学園に乞うご期待！